

日本留学試験 基礎学力科目 シラバス
(2026年度第1回試験の出題から適用)

〈 総合科目シラバス 〉

[試験の目的]

試験科目「総合科目」は、現代の世界と日本を理解するために必要な分野から出題される。その目的は、留学生が日本の大学で勉学に励むにあたって必要と考えられる現代日本についての基本的知識の習熟度を測るとともに、現代の国際社会の基本問題について論理的に考え、判断する能力を有しているかを判定することにある。

具体的には、現代社会が抱える諸課題や地球規模の問題を理解するために不可欠な教科たる政治、経済、地理、歴史に加え、政治・経済の教科横断的分野として社会の項目を含めて総合的に出題される。

[出題の範囲]

出題の範囲は、ローマ数字で示された各分野の下のアラビア数字で示された項目からなる。それぞれの項目の具体的な内容に関しては、そこに分類される用語が概括例示されている。

I 政治・経済・社会

現代の政治

1. 民主政治

民主政治の原理・思想，各国の政治体制

2. 日本の統治機構

国会，内閣，裁判所

3. 日本国憲法

日本国憲法の原理，基本的人権，新しい人権

4. 政治参加

選挙，政党，地方自治

5. 国際政治

国際連合，国際情勢の変容，地域紛争，領土問題，移民・難民問題，
核軍縮，日本の外交・安全保障政策，国際法

現代の経済

1. 経済のしくみと資本主義の発展

経済活動のしくみ，経済学説

2. 市場経済

市場メカニズム，市場の効率性，市場の失敗

3. 経済主体

家計，企業，政府

4. 国民経済

国民経済計算，経済成長，物価，名目値と実質値，フローとストック

5. 金融

金融の機能，中央銀行と金融政策，金融の自由化

6. 財政

財政の機能，財政政策，歳出と歳入

7. 社会保障

少子高齢化，社会保障の歴史と制度

8. 日本経済史

戦後改革，高度経済成長期，日本経済の現状

9. 日本の産業

産業構造の変化，日本の農林水産業と食料問題，日本の中小企業，日本の産業の特色

10. 国際経済

国際経済体制，外国為替システム，貿易，国際収支，地域経済統合，南北問題，経済のグローバル化，各国の産業の特色

現代の社会

1. 環境と資源

公害問題，地球環境問題，資源・エネルギー問題

2. 私法と契約

私法，消費者問題，消費者保護と消費者行政

3. 雇用・労働

労働者の権利，労働問題，労働環境

4. 情報・科学技術の発展

ICTの発達，メディアリテラシー，バイオテクノロジー

5. 国際社会と平和

人権問題，民族問題，貧困，持続可能な社会の実現，国際協力

II 地理

1. 現代世界の特色と諸課題の地理的考察

地球儀と地図、距離と方位、標準時と時差、GIS の活用、気候、地形、植生・土壌、生活・文化・宗教、資源と産業、人口、村落・都市、交通・通信、地球規模の課題、日本の国土と環境、防災

2. 現代世界の諸地域

地誌に関する基礎知識

III 歴史

1. 近代化の進展とその影響

産業革命と資本主義の確立、西アジアの変容、アメリカ合衆国の独立、フランス革命、ウィーン体制の成立、ヨーロッパ再編、南北アメリカの発展、帝国主義と植民地化、アジアの変動と日本

2. 二つの世界大戦とその影響

第一次世界大戦とロシア革命、ヴェルサイユ体制下の欧米諸国、アジア・アフリカ諸地域の変容、ヨーロッパ諸国の停滞とアメリカの繁栄、世界恐慌と第二次世界大戦、戦後世界秩序の形成、アジア・アフリカ諸国の独立、冷戦、ヨーロッパ諸国と日本の経済復興、第三世界の台頭、石油危機

3. 冷戦後の世界

グローバリゼーションとその影響、民族・地域紛争